

研修名	自殺未遂者支援者研修（高齢者編）「高齢者の自殺未遂者にどうかかわるか」
講師	福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 医師
開催日時	令和5年11月17日（金） <基礎編> 13:00～15:00 講義 ～高齢者の自殺予防の基礎知識～ <実践編> 15:15～17:15 事例紹介 ～事例から学ぶ高齢者ケアのポイント～
開催方法	Zoom Meetings を用いたオンライン研修
参加者数	基礎編：27名／実践編：24名 ＊職種内訳：医師、保健師、看護師、精神保健福祉士、社会福祉士、心理職、介護支援専門員、相談員等
研修の内容等	<p>長年、医師として自殺未遂者支援に従事されている衛藤暢明先生にご講義いただきました。基礎編では、自殺予防に関する基礎知識を学び、実践編では、事例を通じた演習や参加者との質疑応答や意見交換を通して、今後の業務に活かせる知識を得ることが出来ました。苦しさを抱える人々の背景に目を向けること、自殺企図のリスクを過小評価しないことの大切さを改めて感じる研修でした。来年度も若者編、高齢者編ともに開催を検討しておりますので、ぜひご参加ください。</p> <p style="text-align: right;">（北九州市立精神保健福祉センター職員より）</p>
参加者の声	<p>「たくさんの感想をいただきありがとうございました！ 一部をご紹介します。」</p> <p>【基礎編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺企図者の特徴、うつ状態の症状、TALKの原則等の基礎知識を知ることができた。 ・高齢者の自殺実態を知り、自殺企図者、自殺念慮のある方がこんなに多い事に驚いた。 ・初診（医療機関）の時点で「自殺企図」かどうかを判断するかしないかで、患者の重みが全然違うこと、その後の介入についてはより慎重になる(リスクを甘く見ない)ことに繋がることを改めて理解した。 ・先生の臨床経験に基づく実践的な内容であるため、今後の業務において、関わり方やポイントがよく分かり非常に為になった。 ・高齢者だけでなく年代にも対応できると思えるところが多くあると思った。 <p>【実践編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に自殺予防をしていく過程を体験できてよかった。 ・実際のケースを取り上げて頂いたことで、自殺の危険性の評価について具体的に学べた。 ・アルコール多飲・薬物乱用で救急搬送されたケースが自殺未遂の可能性もあり、支援者に求められる考え方はとても参考になった。 ・特に困難なケースに対応する際に、支援者に求められる考え方を学んだ。